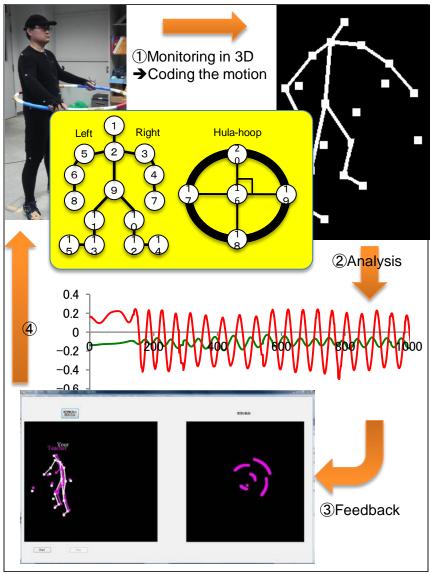


反復運動学習を対象とした身体スキル学習支援

[キーワード:身体スキル,学習支援] 教授 松浦健二



内容:

1)研究の背景: 反復運動の学習には、運動における一定の安定性と、対象運動の揺らぎへの柔軟性が求められる. 複雑な身体制御を人間が学習するためのフレームワーク開発が求められている.

2)研究の概要とその特長:

2-1)目的: 反復運動学習を対象に、身体スキル開発支援のモデル化を行い、その有効性評価を実施する.

2-2)手法:フラフープを想定対象とすると、支援の枠組みは、左の図に記載の①から④のフェーズとして設計した.

- ①モーションのモニタリングでは、動作モデルは身体部位に付与したタグを読み取り、コード化する.
- ②分析フェーズでは、コード化された身体部位の運動軌道と操作対象(フープ)の関係を波形データとして解析する.
- ③フィードバックフェーズでは、得られた分析結果を基に、改善指針を示唆する視覚的情報を提供する.
- ④再びトライアルを行い、①に戻る. 前回からの差分を考慮した本研究では、上記手法を開発し、有効性評価を実現することで、フラフープの初学者を対象として身体スキル開発を支援する. また、本手法を一般化して、反復運動学習支援のモデル化を議論する.

分野:学習支援システム

専門:マルチメディア応用

E-mail: ma2 @ tokushima-u.ac.jp

Tel. 088-656-9804

Fax: 088-656-9804

HP:http://pub2.db.tokushima-

u.ac.jp/ERD/person/73057/profile-ja.html

